

# し ぶ し 志布志



市議会だより

No.23 2011.11.11 発行



夢の野球教室  
ドリーム・ベースボール開催



9月  
定例会

さゆり保育所を民間移管 ..... 2

一般会計補正予算 ..... 4

インフルエンザ予防接種補助を全市民に ... 7

9議員がいっぱい質問 ..... 9

# 松山町 尾野見

# さゆり保育所を民間移管

さゆり保育所の民間移管に  
関する関係条例

平成23年9月定例会を9月9日  
から30日までの22日間開きまし  
た。

一般会計・特別会計（国民健  
康保険・後期高齢者医療・介護  
保険・下水道管理・国民宿舎）  
の補正予算や松山町尾野見のさ  
ゆり保育所を民間移管する条例  
など議案16件を審査しました。

これらの議案及び発議1件は  
原案どおり可決し、TPP交渉  
参加反対に関する意見書を国に  
提出しました。  
一般質問は9名の議員が保健  
福祉、産業振興、防災対策など  
についてたどしました。

松山町尾野見のさゆり保  
育所を民間に移管すること  
に伴い、市立保育所として  
の供用を廃止する条例案と  
建物を無償譲渡、土地を無  
償貸付けとする議案が提案  
されました。

移管先  
○松山町尾野見  
山下修一

## 本会議での質疑応答

### 委員会での質疑応答は7頁

**Q** 民間移管に関する選  
考委員会の結果をど  
のように受けとめ、今回  
の提案となったか。

**A** 保護者会から24年4  
月移管希望の報告を  
受け、7月から移管先公

募、プレゼン、選考委員  
会と短期間ではあったが  
これまでの移管作業と変  
わらない経過を経た。

**Q** 5者からの応募のう  
ち、社会福祉協議会  
と個人が参加しているが、  
市長とは何の連携もなく  
社協は参加したのか。ま  
た、個人と市長は縁続き  
ではないのか。

**A** 社協は市の補助団体  
でもあり、理事会の  
議決を経て応募し、理事  
長から報告があった。個  
人については、今年3月  
まで市職員であったが、  
参加の意向は応募の時に  
初めて知った。山下氏と  
はふたいところもあるが、  
何ら便宜を図るといふこ  
とはしていない。

**Q** 元市職員に移管先が  
決定したことに対し、  
大きな波紋を想定し

なかつたか。

**A** 保護者に対するプレ  
ゼンから選考委員会  
を経ての最終決定であつ  
た。個人の強い意志、熱  
意からそのような決定に  
なった。保育所の経営は  
生易しいものではなく、  
覚悟したうえででの応募と  
思う。

**Q** 当初、12月議会で移  
管先が決定し、来年  
1月頃に説明会を開催す  
る想定であったが、なぜ  
今回のようなスケジュー  
ルになったのか。個人の  
参入に便宜を図るために  
急いだのでは。

**A** 保護者会での協議の  
結果24年4月からの  
移管となったため、それ  
に基づいての変更であり、  
個人が参加するための前  
倒しではない。県の審査  
が11月にあるため、社会

福祉法人格を得ていない  
個人、法人についても資  
格手続期間を考慮し、9  
月議会での議決の方が準  
備がスムーズにいくため、  
変更した。

**Q** 個人や法人への応募  
働きかけはどのよう  
に行つたか。応募期間を  
もう少し長く取り、広く  
周知すべきではなかつた  
か。

**A** 事業所へは保育事業  
者等連絡協議会を開  
催し、公募のお願いもし  
た。20年度の募集から個  
人でも申込可能の内容で  
あり、今回5者応募があつ  
たということは十分対応  
ができたと考えている。

**Q** 決定先は、経験が未  
知数の個人であるが。  
**A** 本年3月まで福祉課  
長として公立保育  
所の運営の責任者であり、  
保育所のノウハウや経験  
がないとは考えていない。





さゆり保育所

## 本会議での討論

### 〈反対討論〉

○議事に民間移管に関するスケジュールの経過報告も全く行われていない。9月議会においていきなり選考委員会の結果として移管先予定者を挙げてくるのは議会軽視である。

○議案上程までの当局の動きには透明性からも疑問である。

○今回のスケジュールは移管先予定者に配慮しての結果と思わざるを得ない。

○以前の移管先も決定時に社会福祉法人格は持っていなかったが、過去に保育実績があった。なぜ今回全く活動実績の無い個人が選ばれたのか。説明責任を果たしていない。

**小野議員**

○なぜ民間移管が必要なのか、その意義や必要性がしっかりと説明されていない。民間移管ありきで進められている。

○役所を唐突に辞めて手を挙げられた。このことは住民の理解が得られる

とは思えない。

○当局が求める民間活力の導入であれば、実績を積んでからでなければならぬ。

○国が導入を検討している子ども・子育て新システムについて十分に説明がなされたか。

○旧松山町での議論を踏まえた提案であるべき。

### 小園議員

○個人の場合、準備期間が6か月以上必要ではないかと考える。この時期の提案の仕方そのものに反対である。

○松山地区の保育所は同一の事業者が運営するという議論があったが、そのようなビジョンが見えていない。

### 岩根議員

○移管先予定者は取り下げを市長の説得により思いとどまったが、危機的な状況の時にこの個人で大丈夫かとの懸念がある。

○本市の保育行政を誰に託せばいいのかという、一番大事な議論が聞かれなかった。経験も実績も必要なく、情熱だけで選

定をしたというあり方はおかしい。

○移管作業のプロセスを見ても賛同はできない。

### 野村議員

### 〈賛成討論〉

○松山町の3保育所が同じ経営者ではどこも同じ方針となり親として選択肢がほしいとの保護者の意向が反映されている。

○選考委員会の結果を尊重すべき。

### 本田議員

○保護者や選考委員会は慎重な審議のうえに、子どものことを最優先に考えてくれる移管と理解し、保育士も交え検討している。

○移管予定者も中途半端な考えではなく、経営の厳しさ、重責に耐えうる責任感とやる気があるの応募で決して天下りではない。

### 坂元議員

○誰しも始めは初心者である。地域住民の関心も高いため質の向上に繋がっていく。

○以前の民間移管の否決理由は、保護者の移管への取り組みがないからとことであつた。今回否定すると議会のあり方が問われる。

○厚労省の考え方では、移管資格要件に個人も認めている。移管予定者は児童福祉事業を熟知しており熱意もある。

### 下平議員

○プレゼンでは大多数の保護者が個人でもOKとの結論を出した。

○合併前は松山町の保育所をひとつとして維持継続していきたいとあつたが、3保育所を1法人で運営すると選択肢が無くなると思える。

○19年度の議決では保護者の意向を無視した選考委員会の決定を否決した。今回は保護者の意向を汲んだ選考委員会の決定と重く受け止める。

### 丸山議員

起立採決による

賛成で  
多数で  
可決

# 9月補正予算 192億9508万円へ

## 9月補正の主な内容

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	5号 4億425万4千円	192億9508万円
特別会計	国保 1号 1億441万2千円	45億9640万1千円
	後期高齢 1号 50万3千円	3億2550万4千円
	介護保険 1号 4177万4千円	34億286万6千円

一般会計は、プレミアム商品券発行事業や災害復旧事業などの経費を計上した5号補正を可決しました。

また、前年度繰越金の確定などに伴う各特別会計の補正を可決しました。

委員会での質疑応答は6頁

本会議での質疑応答

Q プレミアム商品券の発行は、販売期間が11月1日から12月28日、使用期限が平成24年1月

31日までと非常に短いのが、どのような検討を行ったのか。

**A** この発行事業は、財団法人鹿児島産業支援センターが実施する「防疫対策事業」の一環である。産業支援センターは3月末に事業を清算し県に報告するため、1月31日までの使用期限とした。販売期間や使用期限については周知を徹底したい。



発行された ひまわり商品券

Q スポーツ合宿誘致事業の経済効果は。  
A スポーツ合宿は大変好調であり、サッカー、テニス、バスケットなどにおいて志布志への合宿が進み、予想を上回る見込みである。現在、観光振興計画を業者に委託し策定中であり、スポーツ合宿やイベントの経済効果の把握も含めて依頼している。

Q Jリーグのキャンプについては、しおかぜ公園の海側にネットを張れば可能との話もあるが、誘致はできないか。  
A キャンプ地の可能性については関係者も言及している。誘致には人工芝の設置など多額の施設整備もかかり、状況的に難しいが、誘致条件の情報を収集し確認したい。

- 防災対策事業 103万円**  
津波避難訓練の実施、津波対策マニュアルの作成
- コミュニティ放送活用事業 63万円**  
市政や市民活動の番組放送作成をFM志布志に委託
- プレミアム商品券発行事業 2億2129万円**  
プレミアム10%の商品券を1人5万円限度で発行
- まちあるき観光拠点事業 1820万円**  
志布志小学校隣に観光拠点用駐車場を整備
- 蓬の郷親水公園改修事業 700万円**  
普現堂湧水源付近の池や小屋等を改修
- スポーツ合宿等誘致事業 350万円**  
合宿予定見込み人数の大幅な増加に対応
- 予防接種等事業 1243万円**  
インフルエンザ予防接種費用を全市民に2千円助成
- 施設園芸先進的加温技術導入促進事業 636万円**  
ハウス暖房用のヒートポンプ導入費用を助成
- 大隅地域大規模産地育成支援事業 500万円**  
輸送コスト低減のため大型通いコンテナ購入を助成
- 農業用施設災害復旧事業 1023万円**  
8月豪雨の被災農地や農業用施設への災害復旧費用
- 危険廃屋解体撤去事業 300万円**  
申し込み見込み件数の増加に対応
- 小学校施設改修事業 700万円**  
車いす対応トイレ等を香月小学校に整備



しおかぜ公園でのサッカーフェスティバル



# 意見書

TPP（環太平洋連携協定）交渉参加反対に関する意見書

例外なき関税撤廃を原則とするTPPは、農家の将来に向けた営農意欲をくじき、地域経済、国民生活全体に悪影響を及ぼすため、TPP参加検討を直ちに中止するよう、内閣総理大臣や農林水産大臣など国の関係機関に意見書を提出しました。

## TPP（環太平洋連携協定）交渉参加反対に関する意見書（要旨）

後世に継ぐべき我が国の美しい国土は、長きにわたる農山漁村のたゆまぬ日々の営みにより保全されてきたものであり、国家の礎たるこの伝統のうえに現在の国の発展があることを忘れてはなりません。

一方、世界的には、途上国の経済発展や人口増加などにより、世界の食料需要はひっ迫し、食料争奪の様相を呈しています。食料価格は、投機マネーの流入も手伝い、過去最高値を更新し続けています。日本が世界市場で自由に食料を安定的に供給できた時代は、すでに過去のものとなりました。

また、我が国は、戦後最大の自然災害となった東日本大震災に見舞われ、未来に向けて学ぶべき多くの教訓を得ました。食料安全保障もその一つであり、一時的な食料供給不足を経験したことで、過度に貿易に依存するのではなく、地域・国内で食糧生産を行うことが、いかに重要であるかを多くの国民が再認識することとなりました。

こうしたなか、例外なき関税撤廃を原則とするTPPは、食料供給を海外に依存し、国土を荒廃させるものであり、国内農業や地域経済の振興とは到底両立できるものではなく、我々はTPPへの参加に断固として反対であります。TPPは、被災農家の将来に向けた営農意欲をくじき、復興の足かせにしかならないばかりではなく、地域経済・社会ひいては国民生活全体に悪影響を及ぼすものであり、TPP参加検討を直ちに中止させるよう強く要請します。

大型牧場みらいファーム建設反対に関する陳情書は継続審査となりました。

議会基本条例と議員定数の調査特別委員会を設置

7月26日に開催された臨時会において、議会基本条例と議員定数について調査する特別委員会が設置されました。

### 議会基本条例等調査特別委員会

議案審査の充実、効率的な会議の運営、政策形成能力の向上、市民と議会との良好な関係などを調査する。

### 議員定数等調査特別委員会

本市における適正な議員定数等について調査する。

◎委員長 ○副委員長

◎立平利男 ○小野広嗣

平野栄作 下平晴行

坂元修一郎 藤後昇一

毛野了 金子光博

林 勇作 東 宏一

福重彰史 野村公一

◎丸崎幹男 ○長岡耕二

西江園明 丸山一

玉垣大郎 鶴迫京子

本田孝志 立山静幸

岩根賢二 小園義行

鬼塚弘文

### 決算審査特別委員会を設置

平成22年度の一般会計・特別会計決算の認定については、それぞれ特別委員会を設置し審査します。

◎委員長 ○副委員長

◎坂元修一郎 ○玉垣大郎

平野栄作 下平晴行

### 特別会計決算審査特別委員会

◎西江園明 藤後昇一  
毛野了 立平利男  
福重彰史

◎立山静幸 ○鶴迫京子

丸山一 本田孝志

長岡耕二 金子光博

小園義行 鬼塚弘文

野村公一



9月定例会での審議

# 調査委託の地産工業団体の安楽大迫

## 総務委員会

一般会計補正予算  
(第5号)  
(第5号)

**Q** 自主財源の確保が難しくなっている。予算執行に、民間ベースの経営の考え方を取り入れるべきだが。

**A** 取り入れることは大切である。執行の目的達成後の予算残額は、3月を待たずに補正を行い、新たな自主財源になることを職員にも周知し、市長とも協議していく。

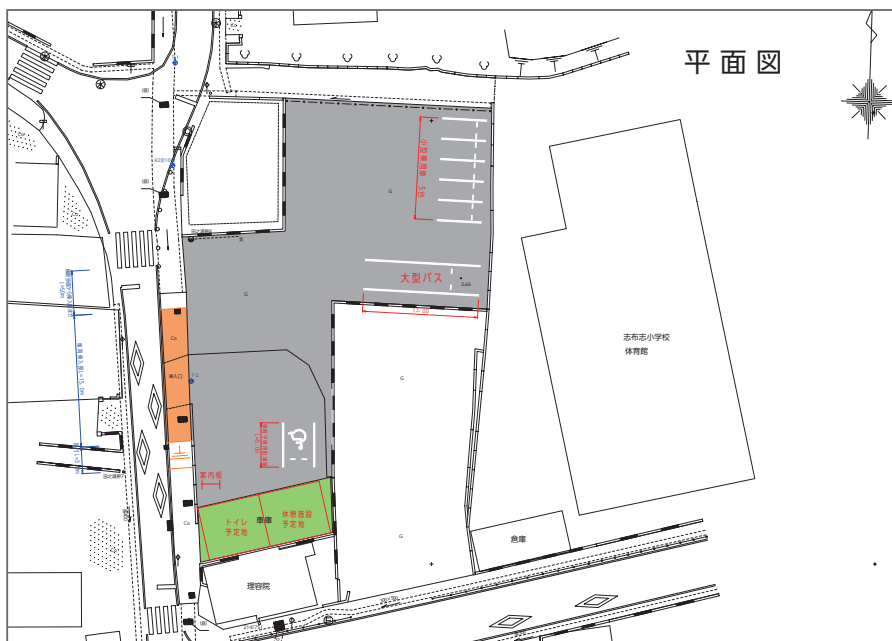
**Q** 地方債（市の借金）の今年度末の見込み額はいくらか。

**A** 244億6072万2千円となる見込みである。

**Q** 森山住宅団地排水施設整備事業は、経費削減を考えると、なぜ、造成工事と同時にできなかったのか。

**A** 21年度に造成工事をしているが、予想外に雨水が多く勾配が緩やか過ぎた。今後、関係各課、当初の設計段階で十分検討し、事業を実施していく。

平面図



志布志小隣に整備予定の駐車場

**Q** 蓬の郷の指定管理者は公園と民宿も管理している。分けて管理すべきでないか。

**A** 公園は専門業者に、指定管理者は施設を中心に、分けて管理するよう検討していく。

**Q** まちあるき観光拠点事業で整備する駐車場（志布

志小学校横）の管理は。

**A** 観光客優先だが一般利用や、直営か委託かを含め管理体制についても今後、協議しながら調整していく。

**Q** 国際バルフ港湾整備のため各産業、企業が連携する必要がある。地元の声を入れた30～50年後の青写真

を作り、県に提案すべきではないか。

**A** 港を中心に関連企業立地による雇用の増加や、若者定住を含んだ青写真作成への早期な取り組みをしていく。

**Q** 安楽大迫工業団地の地盤調査や土壌分析調査委託料の補正は当初に計上すべきではないか。

**A** 委託料は当初に計上するべきと反省している。震災後、企業立地の件で地盤条件等の問い合わせがある。具体的な調査を行い、正しいデータを把握し相手方に伝える、有利な形で企業誘致ができるようにしていく。

**Q** ふるさと納税の用途を、3か年分取りまとめ示すべきであるが。

**A** 用途は多種あるが、効果があるのはハード的なものとなる。各課にも話をし、財務課を含め有効利用を考えていく。ホームページでも知らせているが、一覧にして示したい。

国民宿舎特別会計  
補正予算（第1号）  
(第1号)

今回の補正は、繰越額の確定に伴い一般会計繰入金52万4千円減額し、前年度繰越金を同額、増額するものである。

**Q** ダブリの経営状況は。

**A** 4、5月は指定管理者変更の周知不足や、震災の影響を受けた。7月は前年度を15～16%上回り好調であった。8月は若干減ったが、4、5月より改善している。9月以降は予約が少ない状況である。

**Q** 入浴客減少は、温泉入浴券の変更とも聞く。現状を把握し市長とも協議すべきではないか。

**A** 国保関係の温泉入浴券の対象者変更と、蓬の郷との料金の差が影響していると考えられる。現状を逐次、市長には報告している。さらに、ダブリの温泉は質の評価が高いことをPRしていきたい。

# インフルエンザ予防接種補助を市民全員に

## 文教厚生委員会



**一般会計補正予算  
(第5号)**

(保健課)

現行の若年層と高齢者だけに助成していた接種費用を18才から64才までの市民に対しても接種費用2千円を助成する。

**Q** 昨年の接種率はどのくらいか。

**A** 18才までは60%、65才以上は70%である。

**Q** 予算は市民のどのくらいの接種を見込んで計上したのか。

**A** 曾於市の例から接種率を30%と見込んで計上した。

(教育委員会)

香月小学校に車いす用のいす式階段昇降機を設置する。

**Q** 今回設置する理由は。

**A** 保護者の意向で、今後も香月小学校に通学させたいことから、今回昇降機の設置とトイレの改修を行う。

**Q** 全国市民大学フォーラムの内容は。

**A** 全国生涯学習フォーラムが大震災により中止となったことから、代案として市民大学の活動が全国でもトップクラスである当市にフォーラムの開催の依頼があり、計画した。

(福祉課)

**Q** 財産の売り払いの内容は。

**A** 志布志町にあった旧宝寿園の土地で、既に半分は処分され利用されている。今回は、残っている分を処分する。

### 保育所条例の一部改正

松山町にある「さゆり保育所」を来年度から民間に移管する。

**Q** 8月8日の保護者会主催による意見交換会で一人一人法人に絞った理由は。

**A** 5事業者のプレゼンテーションを受け、保護者から再度話を聞いたことであった。8月10日に選考委員会があ

るので、その前に実施してもらおうようお願いした。保護者会が、どこを選考したかは市職員は出席していないのでわからない。

**Q** 議会が、今まで担当してきた職員を受託者として決め、財産の譲渡や貸し付けをすることに市民は理解しないと思うがどうか。

**A** 職業選択の意味からも、退職者が今まで担当してきたからといって、排除することはできないと思う。

**反対討論** 資料の提出が遅く判断もできない。保護者の代表が重い責任を負わされるような選考委員会の決定の仕方である。

**賛成討論** ①松山町には3か所の保育所があり、同じグループの経営でなく、親としても選択肢が欲しいとの声もある。保護者の意向を優先したのではなく選考委員会の総意で決定されており結果は尊重すべきである。

②自分たちの子どもをど

こに預けるかは重要である。保護者の意向を参考にされた委員会の決定は重い。

### 起立採決の結果 賛成多数で可決

**財産の無償譲渡  
財産の無償貸付け**

さゆり保育所の民間移管に伴い、保育所の建物を無償譲渡、土地を無償貸付けする議案。反対討論、賛成討論も同様の趣旨の討論があった。

### 起立採決の結果 賛成多数で可決

**市災害弔慰金の支給等に関する一部改正条例**

### 可決

**市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する一部改正条例**

### 可決



# 志布志産牛肉ブランド化への取組みは

## 産業建設委員会



始良中央家畜市場で開催された 県畜産共進会

一般会計補正予算  
(第5号)

**Q** 志布志産牛肉ブランド化について、名称は考えているか。また、ブランド推進室と一体となった取り組みはどうなっているか。

**A** 名称は決定していない。県内など広くから公

募してはとの意見も出ている。

畜産課は生産過程や基準などをブランド推進協議会に提案する。ブランド推進協議会は付加価値がつく取り引きなど、農家の所得につながる取り組みを図る。

**Q** ヒートポンプ（施設園芸用重油暖房機）の導

入は、CO2低減、地球温暖化抑制のため義務づけられているのか。

**A** 導入は義務づけではないが、国はマイナス25%、県、市はマイナス30%を目標としている。そのような中、CO2削減のためヒートポンプを導入する農家に対して支援するものである。

**Q** 林道中川内27号支線整備事業は、全線生コン舗装すれば地域の利便性も図られるのではないか。

**A** 上流側の舗装しない部分については国有林のため、大隅森林管理署と協議している。舗装するのであれば、その状況をみながら今後施工したい。

**Q** 危険廃屋解体撤去事業は、大きな家でも小さな家でも補助額は一律30万円か。

**A** 面積は関係なく、解体撤去費用の3分の1を補助し、その上限額が30万円である。

**Q** 鉄道記念公園のディーゼルカーは以前にも修繕したが、今後も修繕が発生するのではないか。

**A** このディーゼルカーは珍しい機種であるため、新設ではなく、継続して展示となった。今回特に南側の壁面が相当傷んでいるため塗装費用として30万円計上した。今後も維持管理は必要と考える。



塗装修繕されたディーゼルカー

陳情関係

TPP（環太平洋連携協定）交渉参加反対に関する陳情書については採択  
大型牧場みらいファーム建設反対に関する陳情書については継続審査





鶴迫 議員

# さゆり保育所 民間移管 志布志市の保育は大丈夫か

## ▶ 公立保育ではできないことに取り組まれる



民間へ移管となるさゆり保育所

**鶴迫京子議員** さゆり保育所の民間移管の経緯は、21年度は見送り、22年度は城南保育所の移管状況を保護者に見てもらうために作業を進めなかったということである。そこで、市は城南保育所の検証を保護者アンケートを取るなど実施してきたのか。

**検証はしていない**  
市長 データを取るような検証はしていないが、

保護者からの意見聴取に努め、現在の保育状況の観察を続けてきた。

**「熱意がある」とは どういうことか**

**問** 社会福祉法人・医療法人・団体・会社ではなく今回、初めて個人に選考委員会で移管先が決定した。主な理由は「他よりも熱意がある」との抽象的答弁であるが、具体的にどういったことなのか。

**資金面もすべてを投じる**

**副市長** 保育所経営の実績はないが、公立保育所の実務があり、保護者会の理解や期待も受け取れた。資金面もすべてを投じるとのこと、最終的に熱意を感じ、委員会の総意として結論に至った。

**なぜ広く公募しなかったのか**

**問** 移管先を個人ですとすれば市報などで知らせ、熱意のある他の市民も対象に、なぜ、広く公募しなかったのか。

**他の周知はしなかった**

**市長** ホームページと掲示板という従来からの公募方法を取り、前回の応募者にも案内した。他の周知方法はしなかった。

**公平・公正な公告などおりの選考・決定ができたか**

**問** 21年度、蓬原と城南保育所の民間移管選考・決定の経緯から2年しか経過していない。資格要

件など、前回と同じく、公平・公正な公告などおりの選考・決定ができたと考えているか。

**できたと考える**

**市長** 基準はすべて満たし、公告などおりの選考・決定ができたと考えている。

**民間移管の目的達成と乳幼児期の十分な保育ができるか**

**問** 保育所は市民の財産である。経営は、市民の税金も投入され、民間移管で10年間、土地・建物が無償貸付・無償譲渡される。一個人は、半年前まで市役所勤務であった。保育所経営の実績も民間活力のノウハウもない。民間移管の目的達成と大切な乳幼児期の保育を十分にできると考えるか。

**民間と公の違いを認識した保育に取り組まれる**

**市長** 市役所職員で福祉の責任者であったことから民間ではない。逆に民間移管の作業を続けてき

た立場で、民間と公の違いの認識は十分ある。公立の保育事業ではできなかったやり方というものに取り組まれると考える。

**移管辞退の申し出は**

**問** 議会の議決を得る直前に、市長に移管の辞退を申し出たことがなかった。土壇場で心境の変化をきたしたことに、子どもの命を安心してあずけられるのか、不安が残る。また、それを引き止めた市長の責任も後で問われることになるが、その流れはどうか。

**内容は言えないが 事実である**

**市長** 事実であり話の内容は言えない。地域の方々の熱望を話の中で十分感じたので、そういったことを中心に話をして、今回のような流れになった。



坂元 議員

# 日本の食糧基地としての構築を急げ

## ▼東北地方をカバーすべく機能を果たす

**坂元修一郎議員** 本市をはじめとする南日本には被災した東日本を補うべき責務があると思う。日本の食糧基地として、地域産業の連携と活性化を今後どのように進めるか。

**市長** 東北地方の壊滅的な状況と、原発の風評被害による農産物への影響は今後予測がつかない。当地域は、日本の食糧をカバーするために、畑かんを利用し今後何を選択し栽培すべきか、大きな課題となっている。温暖な気候と適度な降水量があり、広大な面積に多品目をもって生産機能を果たしたい。本市では、ブランド推進室を設置しており、ブランドの確立と農林漁業者のために、新たな事業創出をおこなう六次産業化にも取り組んでいく。

### 港と道路開発を急げ

**問** 食糧基地として、港湾開発と共に東九州道や都城〜志布志高規格道の早期実現が望まれる。国や県への要望活動をさらに強化すべきではないか。

### 国交省にプログラム提出

**市長** 鹿児島県は国交省に、国際バルク戦略港湾育成プログラムを作成し提出した。このプログラムに基づいて国と折衝を重ね、事業化が可能な所から整備が進んでいく。



都城今町インター付近

### たばこ農家の廃業は

**問** 日本たばこ産業は協力を金を出して廃作農家の希望を募ったが、結果はどうだったか。

### 市内8名の農家が残った

**市長** 今回の措置で17名が廃作され、来年は8名で約14haのたばこ作付面積となっている。

### 新しい事業の創出は

**問** 新しい作物のブランド化と雇用の場が望まれて久しい。これ以上耕作放棄地を出さないためにも農作物の加工施設など、雇用創出にもつながる企業誘致に力を入れるべきではないか。

企業誘致には真剣に取り組んできた

**市長** 県は大隅半島を低コスト加工産物の産地として位置付けている。大隅農業加工技術研究プロジェクト検討委員会を設置し、加工農産物の可能性について検討していきたい。

### 企業誘致については、

20年度より5社と企業立地協定が締結できた。震災後には具体的な工場新設、増設の問い合わせが3社ほどあり、積極的に対応を重ねて誘致を図っているところである。

### 松山の平根地区の活用を

**問** 松山インターは都城〜志布志高規格道が開通した場合、どちらからも15分の所要時間となる。インターから5分のところに平根地区があるが、そこは元ゴルフ場の計画があった場所で、広い敷地の活用方法はないか。

### 市有林だけでは難しい

**市長** 過去においてゴルフ場建設予定地であったが、市有地の9haは北側の急峻な山林がほとんどで、開発をするためには民有地をかなり必要とするので難しいと考える。

### 避難者は6件である

**問** 災害を受け東北から事業の場所や居住の地を探している人もあると聞か、問い合わせ等があるか。

**市長** 問い合わせの件数が多いが、自主避難で本市に居住されているのは6件である。農政サイドには1件の相談があった。

### 東北からの移住者は



元ゴルフ場予定地 松山町平根地区の使い道はないか





西江園 議員

# 地域情報通信 基盤整備事業

## なぜ訴えられる以前に弁護士と面談

### ▶ 契約内容の相談をした



鹿児島地方裁判所

**西江園 明議員** 前任である東京のコンサルタント会社を市側が一方的に契約解除をしたことにより、損害賠償を請求され、現在裁判中である。提訴されたのは、昨年の9月28日であるのに、それ以前の5月から7月にかけて3人の弁護士と面談したのはなぜか。

**市長** 業務委託の契約内容について相談をした。

**問** 裁判になることを前提に相談したのではないか。

**市長** あくまでも契約内容についての相談である。

#### 弁護士への支払いは

**問** 裁判が開かれるたびに、弁護士に報償費をいくら支払っているのか。

毎回5万2500円

**市長** 旅費と謝金を報償費として、毎回5万2500円支払っている。

#### なぜ裁判の度に費用が発生するのか

**問** 市長は3月議会で、今後の弁護士費用の報償費や実費等は、裁判最終後に確定するから、その時点で予算化し議会に提案すると答弁したが、なぜ裁判の都度費用が発生するのか。

#### 裁判出廷の謝礼

**市長** 裁判に出廷してもらった謝金である。

#### 予算化しているのか

**問** この裁判で弁護士に支払う経費として予算化したのか。

#### 予算計上はしていない

**財務課長** 今予算措置してあるのは、法テラスなどに相談するための謝金

であり、この裁判の弁護士費用としては計上していない。

#### 議会へ説明は

**問** 裁判費用は、予算化し議会へ説明すると答弁したが、この弁護士費用は聞いていないがどうか。

#### 説明していない

**市長** 新年度になって弁護士から、その都度精算して欲しい旨の協議があったことによる。議会で説明はしていない。

#### なぜ宮崎県の弁護士か

**問** 契約解除の通知をしたときには鹿児島県の顧問弁護士だった。裁判が始まったら宮崎県在住の弁護士に依頼しているがなぜか。

#### 行政部門の裁判に実績がある

**市長** 宮崎県内の自治体の顧問弁護士をして、行政部門の裁判にも実績があると聞いていた。

#### 裁判で支払いの判決が出たときは

**問** もし一審の裁判で損害賠償の支払いの判決が出たときはどうするつもりか。

#### 裁判に負けることは想定していない

**市長** 手続きには問題もなく、裁判に負けることは想定していない。

#### 事業所にも設置すべき

**問** 行政放送端末機を各事業所に有料で設置出来るとのことだが、企業、病院、大型店なども同じか。

#### 今後検討する

**市長** 事業所の内容によつて区別することは考えていないが、さまざまな観点から内容を詰めている段階であるので、今後検討する。



小野 議員

# 高齢者福祉の充実を図れ

## ▼社会福祉施策の充実に努めたい

**小野広嗣議員** 6月末の22年国勢調査の抽出速報では、一人暮らし世帯が最も多い家族形態となり、新たなセーフティネット（安全網）の構築が必要とある。一人暮らし高齢者や、認知症患者の実態をどのように認識し、施策を講じるのか。

**市長** 65歳以上の高齢単身世帯は、2337世帯。認知症患者は、軽度者を含め1450人。対象者は少しずつ増加していくと思われる。認知症に対する理解を深め、社会的孤立を防止することが社会福祉施策の重要な課題と捉えている。

### はいかい高齢者対策を

**問** 認知症高齢者の増加に伴い、はいかい高齢者も増加することが予測される。はいかいによる事



通山サロンでの元気アップ体操

故を未然に防止するための対策が必要ではないか。

### GPS導入を検討する

**市長** 高齢者の増加に伴い、事故や行方不明等の発生も懸念され、その未然防止策も考えなければならぬ。GPS（位置情報システム）による探査機器の貸し付けなどの事例もあるので、導入に向けて検討していきたい。

### 高齢者の雇用対策を

**問** 厳しい雇用情勢の中、高齢者の就労はますます困難になっている。今まで働いていた所から解雇され働きたいが再就職先がない。年金の金額が少なく、働いて不足分を補いたいなどの声を聞く。市としても高齢者の雇用を創出する新たな取り組みを検討すべきではないか。

### 働きやすい環境をつくる

**市長** 高齢者の働く場として、シルバー人材センターにおいて高齢者労働能力活用事業に取り組んでいる。加入率が減少傾向にあるので、経営を見直し、より多くの高齢者が働きやすい環境をつくりたい。

### 議案上程の姿勢について

**問** 本田市政5年8ヶ月の間に、上程した議案の撤回、反対多数や全会一致による議案の否決などが多々あった。今回も保育園の民間移管に関する議案など、疑義を呈せざるを得ない提案をしている。議案を議会へ上程する際の市長の基本的な考え方について示せ。

### 説明が不十分であった

**市長** これまでに、多くの議案の撤回や否決の判断を受けたことは、大変残念である。原因として、私の説明が不十分であったと思う。今後は、ケアレス・ミス（不注意による誤り。軽率なまちがい）のような形の提案を絶対になくすための機構の構築を目指したい。

### PRE戦略の導入を

**問** 今後の地方自治体は財政の健全化に向け、公的不動産を経営的な観点から捉え、賃貸運用や売却などを含めた有効活用や最適化を図っていく必要がある。本市でも地方公共団体における公的不動産の適切なマネジメント（PRE戦略）を導入すべきではないか。

### 最適な活用手段を図る

**市長** 今後は普通財産のみならず、公有財産全体について、公共・公益的な目的を踏まえ、財政健全化等も念頭に入れながら、売却や貸し付けの選択を行う。個々の土地の特性に応じて、最適な活用手段を選択するなど、PRE戦略を視野に、適切で効率的な管理・運用を推進していきたい。

### 学校の防災機能の強化を

**問** 東日本大震災を受けて、文部科学省は全国の学校施設を地域の防災拠点として整備していく方針を打ち出した。学校施設の防災機能強化に向けた今後の取り組みを示せ。

### 非構造部材の強化を図る

**教育長** 今回の大震災で天井や照明器具等が落下する被害が相次いだ。非構造部材の耐震化など、外壁モルタルや照明器具などの落下防止対策と老朽化対策を合わせた工事を最優先に実施したい。





立山 議員

# 牛のオリンピック出場の準備は

▶平成22年度から進めている



県共進会で岩根和明さん、石田春嘉さんの出品牛が最優秀賞1席を受賞

**立山 静幸議員** 和牛のオリンピックとも言われる全国和牛能力共進会が、平成24年10月長崎県で開催される。伊藤知事は、9部門の完全制覇を目指している。本市の鉄平号が種牛に選定されている。第7区の種牛群と肉牛群の選考状況はどう

なっているか。

**市長** 種牛群の繁殖育成牛は、現在119頭が子牛登記が終了。平成24年3月から曾於地区内の予備選考。8月末県の選考会が開催され、鉄平号肥育候補牛は現在、県内で15頭が肥育中である。

## 鉄平号の受精支援の実績は

**問** 平成22年度予算計上され、実施済みの全共出品強化対策事業で鉄平号の受精支援の実績はどうなっているか。

200頭に対し

73頭の実績

**市長** 全共出品条件の育種価を備えた6歳未満で登録点数84点以上の繁殖牛に鉄平号を受精した場合、2万円の助成を200頭分計上した。実績は73頭の助成を実施した。

## 全共出品候補牛の導入意欲は

**問** 鉄平号・金幸福号の全共出品候補牛の導入、育成までの過程を支援するため、全共出品強化対策事業で1頭当り10万円を助成しているが、畜産農家の導入意欲はどうか。

## かんしょ新品種への早急な普及拡大を



かんしょ畑

## 本年11月から導入計画

**市長** 全共出品を目指して、40頭分予算計上している。本年11月から導入計画が優秀な子牛は自家保留を推進し、購入希望者には、事業内容の理解を求めながら、積極的に導入を推進する。

## 需要の推進動向を

見ながら

した。農商工連携及び地域活性化のため、市内では、来年度にむけ種芋の確保はどうなっているか。

**問** 九州沖縄農業研修センターは、でんぶん用「こなみずき」と焼耐用「サツママサリ」の新品種を育成したと6月30日発表

**市長** 那覇県農協ではすでに種芋を確保し、試験栽培を計画している。あおぞら農協は、需要の動向を見ながら検討すると聞いている。新品種は、低温時の植え付けは収量が減少、また病気に弱い一面もあり、製造メーカーの需要の動向を見ながら推進したい。



岩根 議員

# 墓地水道料金の見直しを

## 前向きに見直しを検討

**岩根賢二議員** 市営墓地の水道料金は市が負担しているが、民間の共同墓地の水道料は個人負担であり、合併後、料金体系が変わったため極端に高くなっている。例えば、年間使用量が4m<sup>3</sup>の墓地の場合、合併前であれば640円だったものが、合併後は10倍以上の7840円になっている。また、自治公民館の水道料についても同じような状況である。これらの水道料金体系を見直す考えはないか。

**市長** 合併後、料金体系を統一して基本料金を設定した。改めて考えたときに、高齢化が進んでいく中で、福祉的な観点から、公民館のことも含めて見直しを前向きに検討したい。



墓地水道料金

### 道路の改良を

**問** ①市役所本庁横の市道吉村・牧ノ内1号線と市道野吉・東吉村線および県道志布志・線および県道志布志・有明線が交わる慰霊塔下の交差点は変則的であり歩行者も車も通

行しにくい状況である。交通事故を未然に防ぎ、歩行者の安全確保のため道路改良する考えはないか。

②市道昭和・弓場ヶ尾線の上昭和地区の道路は一部は改良されているが、それより南側について、今後の計画は

ないのか。  
③文化会館を利用するときは駐車したあと、市道を横断しなければならず危険を伴うため、この道路を改良して駐車場を文化会館側に一体化する考えはないか。

### 関係部署と協議して改良を進めたい

**市長** ①どのような形であれば安全な状況が作れるか警察や公安委員会と協議し、県とも連携をとりながら改良を進めていきたい。

②この道路は旧志布志町で都市計画路線として、1900mの内、300mほど整備されたが、残りの部分については事業費が相当必要となり短期間では難しい。しかし通学路で歩行者も多く優先度は高い。過疎計画では平

成25年度から年次的に5千万円ずつ計画していく。

**教育長** ③文化会館前の道路線形を変えた場

合、かえって駐車スペースが狭くなるのではないかと思う。また、裏の谷を埋めていくコースにした場合、9億円ぐらいはかかるということだ。事業としては難しいと思う。現状のまま、交通事故が起きないように安全指導を徹底して対応していきたい。



市役所本庁前の交差点





小園 議員

# 職員適正化計画で支所はどうなる

## ▶ 業務量調査をし考える



志布志支所

**小園 議員** 合併後5年間で50名近くの職員が辞めている。今後、さらに5年間で30数名削減していく計画である。要求の多い所に人をたくさん配置する事が本来の計画と考える。5年後の本庁、松山支所、志布志支所のあり方はどうか。

**市長** 職員適正化計画、また人員の削減に伴う業務量がどのような形で担うべきかを把握するため、業務量調査をしている。それをもとにサービスのあり方をさらに考え、本庁、支所の職員の配置について考えていく。



松山支所

### 議員報酬や市長退職金の見直しは

**問** 職員削減に財政的な問題があれば、議員報酬や市長の退職金の問題等、総合的に議論し、自らも襟を正す必要がある。どう考えているか。

### 十分調査し精査する

**市長** 職員の人件費、また議員報酬についても全体の行財政改革の中で考えていかなければいけない。退職金についても、他の団体も十分調査して、本市にふさわしいものを精査して提案する。

### 住民への通知は十分か

**問** 国保税の収入未済額が約2億8千万円もある。これが国保加入者の実態である。住民に対して納税の猶予や減免についての通知をしっかりとしているか。

### 生活状況を勘案し対応する

**市長** 猶予について、地方税法に規定され、制度の説明はしてきた。減免についても国保税条例で規定するとともに、減免に関する規則や要綱を定

### 条例の制定は

**問** 滞納した税金をまじめに納めている住民に対して、国が示している法に基づいて延滞金を免除する条例の制定は考えられないか。

### 研修し協議する

**市長** 納税については、公平、公正ということで義務付けられている。納税滞納の徴収については、個人の状況に配慮し徴収している。調査研究し取り組めるところを議会に相談する。

**税務課長** 県内の市町村において条例、内規されている所があるので研修し協議していく。

他に

保育所民間移管  
健康増進法  
について質問した。



福重 議員

# 放送内容・時報は地域を考慮した取り組みを

## ▼時報の変更をしたい

### 検討したい

市長 何らかの対応が必要とは考えている。効果と費用について検討したい。

議したい。

### 苦情解決への姿勢を

### 補強工事を行う

### 施設もある

問 たいへんな生活のなかに月額3760円の料金の契約をした高齢者もいる。苦情は今からも出てくると思うが、解決へ向けた姿勢は。

問 県道柿ノ木志布志線柳橋からの一工区が完了した。二工区の整備計画の見通しは。

県道柿ノ木志布志線  
一工区の見通しは

市長 松山地区は午前6時の定刻音が定着しており、午前6時に変更する。競り市の結果は試験的に行っている。今後は地域住民の意見を確認し、定期的な放送にしていきたい。

市長 さまざまな要望等に対応できるのか、その都度処理し喜ぶ内容にしていきたい。

問 たいへんな生活のなかに月額3760円の料金の契約をした高齢者もいる。苦情は今からも出てくると思うが、解決へ向けた姿勢は。

問 有明地域も朝6時と

### リモコン操作の改善は

### 公共的な運営を強く求める

市長 市民サービス向上のために最大に使っていくこと、公共的な立場で運営をしていくようBTVに強く求める。

### 避難所の安全確保は

問 地域住民の避難所の耐震強度を含めた安全確保は図られているか。

### フィルムを貼る考えは

問 建物本体の耐震工事は当然だが、中の部分も強化をしていくべきだ。窓ガラスの破損や飛散によるけが等の防止にフィルムを貼ることが有効だと言われているが、その考えはないか。

### この他に

地域高規格都城志布志道路並びに東九州自動車道の進ちよくと今後の見通しについて質問した。

### 強く要望している

市長 残り800mの二工区は、整備計画のない状況である。市の重点路線として強く要望していく。

### 喜ぶ内容に

市長 さまざまな要望等に対応できるのか、その都度処理し喜ぶ内容にしていきたい。

### 簡便なものに協議したい

市長 工事はひととおり済んでいる。リモコンは私自身も使いきれしていない。使い勝手の良い簡便なものにできないか、協



開始された行政告知放送端末での放送

福重彰史議員 行政告知放送端末が始動し、松山地域も再生や、自治会毎の放送ができるなど喜ばれている。一方、牛の競り市の結果の削除や、朝の時報が変わるなど、苦情や不満が寄せられている。放送内容や時報は、地域の実情や特性を考慮した取り組みをすべきではないか。





# 地下水保全条例の制定はできないか

## ▶ 他自治体の条例を参考に制定する



住宅地の陥没状況

**下平 晴行議員** 市民生活にかけがえのない資源である地下水を将来にわたって享受できるように、水質、水量の両面から地下水の保全を図る必要がある。飲料水その他市民生活に必要な水を確保するために地下水保全条例は制定できないか。

**市長** 県内の地下水保全条例を制定している自治体を参考にしながら、地下水保全条例の制定に向けて前向きに研究を重ねる。

**問** 制定するのは、今年度か、24年度か。

**市長** 今からさまざまな方面からの検討をしていく。時期については今しばらく待つてほしい。

### 分譲地の陥没対策は

**問** 土地開発公社の分譲地が陥没したために住宅が傾いたり、外壁等にヒビが入り入居者に変な不安と迷惑をかけている。公社は分譲地の実態を知ったうえで販売して

いるが、その責任、いわゆる瑕疵担保責任はどうか。また、現在ボーリングをして調査中であるが、今後どのような対策をしていくか。

### 補修で対応する

**市長** 瑕疵担保責任というのは10年であるが最高裁の判例を参考にしたい。しかし、道義的な責任とすることがあるので、現況調査及び地盤調査に基づいて補修で対応する。

今後、詳しく調査したうえで売主、買主双方で協議をしていく。

### 支所のあり方について

**問** 市民の要求を早急に解決するために建設課と産業振興室を統合し、産業建設課として対応できないか。

**計画を策定し  
その中で協議する**

**市長** 本庁と支所の業務分担の見直しや業務改善を図りながら、社会経済



難聴地区の解消を

情勢の変化に対応できる組織機構見直し計画を策定し、その中で協議する。

### 携帯電話の難聴地区の解消は

**問** 地域情報通信基盤整備事業が導入されて全市民的に通信情報格差がなくなつて有難く思っている。しかし、四浦地区の岩郡、宮之前、昆砂ヶ野の3地区は携帯電話が使えないため、大変不便をしているが解消できないか。

**国からの調査が  
来ているため要望する**

**情報管理課長** 国の来年度事業に、県から不感地域解消要望の調査が来ているため要望する。

### 実施年度は

**問** 要望をして24年度の実施か。

**24年度ということである**

**情報管理課長** 県から来ている要望書では、24年度というところである。

中学校を卒業して「45年」早いものだ。8月に還暦同窓会があり90名近い参加があった。45年ぶりに会う同級生・同期生は実に懐かしかった。まずは山宮神社に参拝したのだが、女性には還暦はないということを知った。

母校の志布志中学校に出向き、皆で校内を散策したが、45年前の思い出がこみあげてきた。宴会場ではクラス毎の席が

設けてあり、まず亡くなった同級生と、先の東日本大震災で亡くなった方々に黙とうをし冥福を祈った。

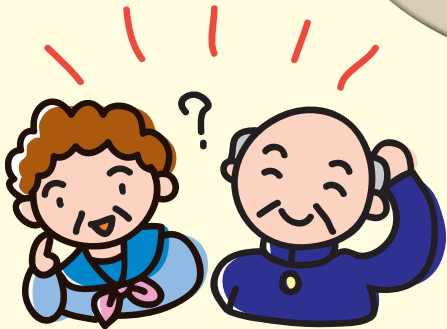
宴会が始まり話しがはずむ。中学校の時とそれほど変わらない同級生、誰だかわからない同期生「おまやだいやったかね」とさらに話ははずむ。子供のこと、孫のこと、体のことなど話しは尽きない。

一人の女性が東日本大震災の被災地から参加していた。「大変だったね」と聞くと、自分の家は大丈夫だったとのことだが、友人を亡くしながらもボランティアに参加



したという。「私はまだ若いから」と話してくれた。昔は人生50年といわれていたが今、私達はその年を10年も超えてしまった。これから社会のためにどれだけ役に立てるか、還暦の節目にもう一度それらを考えることも大事であると思う。

まず自分が健康であること、人に迷惑をかけること、今回の還暦同窓会に参加して、多くの同級生が気持ちをひとつにすることがあった。今、人生60からだ頑張ろう。



## どうぞ傍聴席へ 次回定例会は12月です

開会中は、本会議の様子をケーブルテレビの112チャンネルで生放送しています。また、当日の午後10時から録画再放送もあります。是非ご覧下さい。

◎インターネットでもライブ中継を公開しています。志布志市ホームページからご覧ください。ライブ中継⇒志布志市トップページ≫議会中継≫議会中継（ライブ中継）へ

### 編集後記

藤後 昇一



地震、津波、原発事故の未曾有の多大災害に襲われた東日本大震災から7ヶ月以上が経ちましたが、被災地の復旧復興は遅々として進んでいません。その過程で、被災地の知事をはじめ首長の存在が注目されているのに対し、地方自治の二元代表制の一方の雄であるべき議会、なかなか被災地から選出されている議員の活動が見えてこないという意見が多くあります。これは地方議員への期待と不満の表れであると同時に、議員自身の活動の情報発信不足への警鐘ではないかと考えています。

このことを踏まえて私も地方議員として「志布志市議会だより」作成に関わることは、自らの活動を検証するために重要なことであると自覚するところです。

#### 広報等調査特別委員会

- |      |       |       |
|------|-------|-------|
| 委員長  | 下平 晴行 | 玉垣大二郎 |
| 副委員長 | 坂元修一郎 | 鶴迫 京子 |
|      | 平野 栄作 | 藤後 昇一 |
|      | 西江園 明 | 毛野 了  |
|      | 丸山 一  |       |

#### 発行責任者

志布志市議会議長 上村 環